## 熊倉さんが最優秀に
# 少年の主張〝作文〟

青少年育成横越村民会議では、青少年健全育成の一環として、さる三月中学生を対象に「少年の主張」作文を募集したところ、四十五名の応募がありました。

審査の結果、十名が入賞し熊倉真奈美さんが最優賞に輝き、それぞれ賞状と賞品が授与されました

### ◎入賞者

最優秀賞　熊倉真奈美
優秀賞　栗原留美子
〃　円山　薫
〃　佐藤　式子
佳作　谷井　正子
〃　中川　栄子
〃　米山久美子
〃　松本　理子
〃　佐久間律子
〃　金川　明

### 最優秀作品

## 非行と非行少年

中三年　熊倉真奈美

最近、親に対する子供の暴力殺人、あるいは生徒の学校での暴力などがふえてきています。

ひどい人の中にはもう有名になった、金属バットで親を殺すような事件、そういうふうに今まで自分を一生けん命育ててきてくれた両親に対して感謝をしなければならないのに、暴力をふるったり、残酷に殺したりしていったい何が気にいらないのだろう。その人の心はどうなっているんだろうか。この世の中では、両親がいない人とか、あるいは親が一人しかいない人などあまり恵まれない環境に育った人がたくさんいます。そういうかわいそうな人から見た私達というのはどんなに幸福か、どんなにうらやましいか……。もし、自分が両親のいないさびしい環境の中で生活していたらどんな思いか。なんてことを考えたことはないのだろうか。そりゃあ生きていれば人間だれに対しても不満というものはあるでしょう。

しかしその思いを爆発してしまってはおしまいです。

みんなそれぞれいやな思いをこらえているからこそ世の中がこんなにも平和なのです。一番身近にいる親、自分を生んでくれた親、親がいるからこそ現在の自分がいるのです。ここまで生きてこられたのです。

事件を例にあげてみれば、まず先にあげた金属バットの事件。それから久しぶりに家に帰った男の人が家族からつめたくされたために自分の家族を殺すような事件がありました。

家族からつめたくされたのはやっぱり自分が悪いからだと思います。もし誰からでも好かれるような良い人だったらつめたくなんてしないと思います。それにこんなにも悪どい行為をした人はかならずといっていいほど幸福になる人はいないでしょう。自分で自分の不幸を作っているようなものです。親は自分が死んだということより、今まで一生けん命育ててきた子が殺しをした、しかも親の自分を…。そっちのほうがくやしいと思うはずです。やっぱり原因はだいたいその人の心の問題ですが周りの環境のせいで起きる場合もあると思います。

しかし、あまり環境のよくないところでがまんをしながら生きて来たという人はみんなりっぱな人です。そしてだれからでも好かれます。ぜいたくな暮らしをして生きてきた人たち、親がとっても甘く育てきた子供というのは外から見ればお金持ちでとってもよい暮らしをしているように思います。でも実際その人にはがまんというものがありません。それに昔にくらべてみると今の私たちは環境がよいせいか体は弱く、がまんが足りないとよく大人たちから言われます。

学校での暴力、これはだいたい青少年・不良少年がやるものです。学校のガラスを割ったり、または教務室をあらしたりほんとにひどいものです。不良などは何が原因でふえているのか。又、どこがかっこいいのでしょう。一度悪い行為をすると必ずといっていいほどまた何か問題を起こします。だいたい気持ちのぐらついている人は試験を受けても落ち、またさらに気持ちがぐらつくでしょう。こんな人たちをこれからどうやって減らしていくか、これ以上ふやさない為にはどうしたらいいのだろうか。私達は、今、一人一人が自分の考えを持ちそれを正しい方向に向けて進むことが大切だと思います。

## 有放利用団体会議
# 親しまれる有放に要望続出

有線放送は、昨年十二月一日から日曜日を除き一斉放送をはじめたのに続き、四月から新らたに地区放送（ページング放送）、テレホンガイド緊急放送もはじめられこれで有線放送の全機能が発揮されました。

有線放送協会は、村民みんなの有線放送として親しんでもらうために、五月二十一日農協全館で有線放送利用関係団体連絡会議を開き、いままでの各機関、団体の有線放送利用状況、有線放送の問題点などの報告と積極的な放送利用を要請しました。

一方、放送利用関係機関、団体からは、〝ニュースが少ない〟〝村内にニュース取材通信員を設置したらどうか〟〝リクエスト音楽を取り入れたらどうか〟〝自主番組をお昼に再放送を〟〝自主番組が識別できるテーマ音楽を〟〝テレホンガイドに行政メモを設けてほしい〟〝放送内容が充実すれば聴集率は高まる〟など沢山の意見が出されました。

協会では、これらの意見や近く行われるアンケート調査モニターからの意見などをふまえ、有線放送を充実していくとしています。

○○○○水道週間○○○○

## 阿賀野川浄水場一般公開

6月7日（日）
午前9時～午後4時

見学された方には鉛筆のプレゼントをいたします。

## 昭和56年度 県職員の募集

新潟県では上級中級及び小中学校の栄養職員を募集しています。

◎受付期間五月二十七日(水)～六月十七日(水)
◎第一次試験日　七月十九日
※詳しくは新潟県人事委員会へ（県庁分館内）
電話新潟局㉓五五一一番



# 早起野球組合せ決まる
## 横越農協の二連覇なるか？

五月二十一日から第七回早起き野球大会がはじまりました。前回優勝した横越農協が二連覇をねらい注目されますしかし、同ブロックに昨年の夏公民館野球大会で優勝したパンサーズ、第五回早起野球大会の優勝チーム二本木クラブなどがいるため白熱した試合展開が予想されます。又、今回初出場の塚田牛乳、新栄信用組合、ルーキーズ、Jホルスタインズ、ファイティングダンディーズ、下小杉の活躍に期待したいところです。ともあれ、朝寝坊が敗けにつながるだけに優勝チームの予想はむずかしいようです。

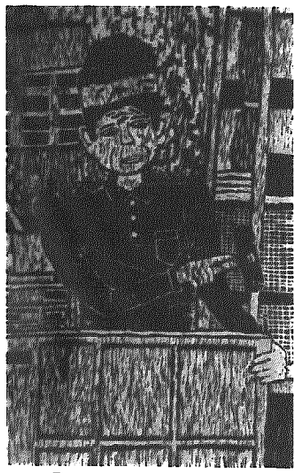
### 組合せ表

○試合開始時間5時15分から

横小グランド　沢海グランド

1日 竹の子
2日 藤山アニャーズ
3日 沢海メッツ
4日 ルーキーズ
5日 ホルスタインズ
6日 新栄信用組合
7日 寿クラブ
8日 友和
9日 ロートルズ
10日 Jホルスタインズ
11日 沢海好球クラブ
12日 ファイティング
13日 田中組
14日 ブービーズ
15日 N・タウンズ
16日 小杉は
17日 パンサーズ
18日 川根クラブ
19日 ウルフ
20日 ヤンキーズ
21日 塚田牛乳
22日 ダンディーズ
23日 恒心クラブ
24日 二本木クラブ
25日 役場A
26日 コンドル
27日 役場B
28日 下小杉
29日 横越農協
30日 林工業クラブ
31日 東

# こどもサロン

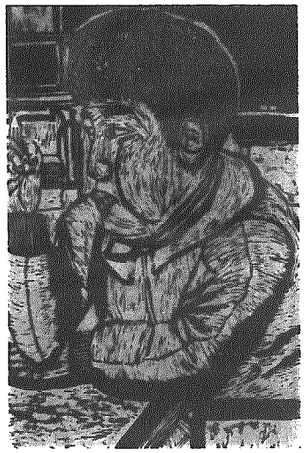


6年3組
斎藤和昭君

家族という課題でスケッチさせました。現場で働いてきて帰ってからも仕事をするお父さん。そんなお父さんを見て描きました。

一生懸命に釘を打つ手、その手元をじっと見つめる目、仕事をしているんだという姿が、生き生きと描かれています。

（六年三組担任　吉田啓一）



教室で学習している友達の姿を書かせました。机にすわっている上半身を描くとなると、変化に乏しくなることが予想されるので、角度をつけて厚みのある作品を目ざしました。

この作品では、男の子らしい、たっぷりとした彫り方と、奥行きのあるところが良かったと思います。

（六年二組担任　土田和行）

6年2組
神田俊昭君

# 芸窓文の
## （横越歌壇作品）

春の陽をうけて草除り叉楽し
不満の数も消えゆくように
中川美英子

郭公の声いまだしに田植らし
機械文明語る若人
遠藤　左岸

絹糸の如く音なき雨の降る窓
辺にもたれもの思いおり
南場　愛子

疾風をさえぎつつ樹々たくま
しくめぐり来春の息吹きの確
かさ
白柏　紗妥

さわやかな朝日をうけて高空
に帰る白鳥のつばさきらめく
戸石ジュン

老夫婦わびしく炬燵か山峡に
雪もり上りおる屋根は見えね
ど
田村　茂理

土俵際に押され押されし負け
方と同じことなり空に雲とぶ
田村　忠雄

### 《短評》

横越に短歌会が発足したことをまずもってお喜び申し上げます。

横越の短歌会の皆さんは田村忠雄さんの他はまだ歌を作り始めて日が浅いということを聞きましたが、ここに掲げた作品は、みんな相当にうまい作品で驚きました。

「よく俳句なら簡単に作れるが、短歌はどうもむづかしくて」という声をききますが、実は俳句よりも短歌の方がやさしく作れるものなのです。

中川さん、遠藤さん共に労働の歌で素朴に情景を詠んでいます。南場さんの歌は、いかにも春愁を感じさせる歌です。白柏さんのは「たくましく」「息吹き」等の語句が適切で迫力ある歌です。しかし「さえぎつつ」は再考すべきでしょう。戸石さんの白鳥の歌は「つばさきらめく」が巧みで美しい歌になっています。

田村茂理さんのは車中から雪の山間部落を遠望してそこに住む人々を想像した歌、田村忠雄さんの歌は「負け方と同じこと」が例えば減反問題なのか或は誰かと論争をしたことなのか。それらを読者の想像にまかせた歌であって、含む内容の深さを感じさせる秀歌です。

（塩井三作記）

（横越歌壇例会）➡

### 同好者歓迎

横越歌壇では同好者、新人の加入を歓迎しています。連絡は横越歌壇（代表田村忠雄・藤山）へ